

進化はロマン、
想像力は人生を豊かにする。

THE WHOLE STORY
Steve Parker

スティーヴ・パーカー 編
日本語版総監修 養老孟司

生物の進化大事典

日暮雅通 中川泉 訳



B5変型判 576ページ 定価(4,200円+税) ISBN 978-4-385-16240-9

- 最新の知見に基づいて、最古の生命(全生物の最終共通祖先LUA)から現生人類ホモ・サピエンスまで生物の進化史を、オールカラーで俯瞰できる。
- 進化を研究する上で特別な意味を持つ絶滅種や現生種にスポットを当てて紹介。
- 爬虫類と哺乳類については、全ページ数の半分以上を使い、特に詳しく解説。
- 霊長類を含めて人類の進化についても多くのページを割いて解説。

【編者】

スティーヴ・パーカー

動物学の第一級優等理学士号を持つ、ロンドン動物学会の上級科学フェロー。生命科学を中心に200点以上の著書があるほか、関わったプロジェクトやウェブサイトは100以上。

【訳者】

日暮雅通

青山学院大学理工学部卒。翻訳家。訳書は『シャーロック・ホームズ大図鑑』『10代からの哲学図鑑』(以上三省堂)、『サイエンス大図鑑』(河出書房新社)、ほか多数。

【日本語版総監修者】

養老孟司

東京大学名誉教授。医学博士。専門は解剖学。東京大学医学部教授を退官後、執筆・講演活動を精力的に行う。訳書にスタンレー『進化 連続か断続か』、マイア『ダーウィン進化論の現在』(以上岩波書店)、著書に『形を読む』(培風館)、『解剖学教室へようこそ』(筑摩書房)など多数。

中川泉

大阪外国語大学英語学科卒。訳書に『すごいイノベーター70人のアイデア』(TAC出版)、『ビッグヒストリー』(共訳・明石書店)など。

日本語版総監修 養老孟司「まえがき」より

想像力は人生を豊かにする。夢物語は技術の進歩だけにあるのではない。ロマンは過去にも未来にも関係なく存在している。ロマンが欠けている状況を、じつは「つまらない」という。少しばかりいいから、想像力さえ駆使すれば、この本は本当に面白い本である。

三省堂

- 豊富で美しい図版(化石、復元図、復元骨格)や生態写真などにより、見るだけでも楽しい。
- 各章は、進化を考える上で主要なグループや重要なテーマに分けて概説。さらにキー・イベントによって時代ごとの変遷がわかる。
- 各章の初めには、最新の知見に基づく系統図を掲載。この系統図により、それぞれの分類群の類縁関係がよくわかる。

身長1メートルにも満たなかった人類、ホモ・フロレシエンシス

Robert Huxley **ホビット人**
PLISTOCENE EPOCH **更新世**



2 003年にインドネシアのフローレス島の洞窟の洞にたまったものの中から見つかった。ホモ・フロレシエンシス *Homo floresiensis* の骨格と部分脳は、多岐にわたる人種といわれる。最新の知見では、原始的な特徴と驚いた特徴があった。非常に小さな人種といわれる。夫の女性「フロー」の頭骨の骨格は、ほかからなる骨格は、ホモ・フロレシエンシスの身長が1メートルに満たなかったことを示している。現生人類は祖先としては除外されたが、これはホモ・サピエンス *H. sapiens* が70万年程度前にフローレス島にたどり着いた時に、ホモ・フロレシエンシスが既にそこにいたからである。この化石の発見時に「ロード・オブ・ザ・リング」の映画が公開されていたこと、世間の人たちの小さな人間を「ホビット」と想像させたこと。この化石が発見されたのは、スラバヤ島のFlores島の動物化石の洞窟であった。ホモ・フロレシエンシスは約5000年前から7000年前のものと考えられている。石器で殺した動物の骨の化石が見つかったことで、ホモ・フロレシエンシスが道具をつくり、多種な動物を狩り、火を使ったことがうかがえる。洞窟には、石器から削り出された長距離の石が散り、ホモ属 *Homo* における知能のレベルを推測することができる。その石片に複雑な彫刻があったため、織物や木製の器物に対してどのように使ったと考えられる。人類として最初に記載されたホモ・フロレシエンシスについては、クワンタンなどの発見者となる研究であったと考えられるが、現時点では科学的に確認されていない。DP

ナビゲーター

注目ポイント

- 脳容積**
「ブローアーフーフス」とよく知られる脳容積はわずか400リットルで、アウストラロピテクス属の脳容積よりも小さい。脳容積は、脳の重量とほぼ等しい。脳容積は、脳の重量とほぼ等しい。脳容積は、脳の重量とほぼ等しい。
- 体**
脳と脳に似、全体的な骨格には、現代人と近しい特徴が認められている。手足と骨格がかなり人間に似ている。足は、現代人とほぼ同じ長さである。足は、現代人とほぼ同じ長さである。
- 道具**
ホモ・フロレシエンシスの道具は、更新世初期の道具に似ている。それらは、石器で殺した動物の骨の化石が見つかったことで、ホモ・フロレシエンシスが道具をつくり、多種な動物を狩り、火を使ったことがうかがえる。

見本ページ(縮小)

主な目次

- 序章**
- 第1章 最古の生命**
岩石や化石の年代測定/初期の地球-生命の誕生/カンブリア大爆発 など
- 第2章 植物**
最古の植物/植物の陸上進出/ヒカゲノカズラ類、リンボク類、シダ種子類/針葉樹の時代/被子植物の発展 など
- 第3章 無脊椎動物**
海綿動物/サンゴ/蠕虫類/三葉虫/陸上の節足動物/甲殻類/筆石類/オウムガイ類とアンモナイト類/昆虫の繁栄 など
- 第4章 魚類・両生類**
背骨の発達/顎がある魚類/肉鰓類/条鰓類/ひれから手足へ/初期の両生類/ペルム紀の大絶滅 など
- 第5章 爬虫類**
初期の爬虫類/初期の単弓類/最初の海生爬虫類/魚竜/恐竜形類/腰の重要性/巨大竜脚類/初期の肉食恐竜/長頸竜とプリオサウルス類/翼竜/巨大肉食恐竜/ドゥロマエオサウルス類/羽毛恐竜/鳥脚類/剣竜/曲竜/角竜類と厚頭類/モササウルス類/白亜紀の大絶滅 など
- 第6章 鳥類**
恐竜から鳥類へ/飛行能力の発達/鳥類の多様化/猛禽類/巨大な恐鳥類 など
- 第7章 哺乳類**
獣弓類/最初の哺乳類/有袋類/胎盤類/霊長類/鯨(偶蹄類)/齧歯類の頭類/肉齒類/ゾウとその類縁/奇蹄類/オオカミ、イヌ、キツネ/ウマ/クジラ/サルと類人猿/イタチ類/ネコ類/ヒトに向かって/初期人類/現生人類/氷河時代の大絶滅/動物相/人間活動と進化 など

Michael **マイアサウラ**
LEIOMYRAX PRINCEI **暴竜の暴君**



1 更新世の哺乳類の骨格は、現代人と近しい特徴が認められている。手足と骨格がかなり人間に似ている。足は、現代人とほぼ同じ長さである。足は、現代人とほぼ同じ長さである。

2 体

3 道具

子育てをした恐竜、マイアサウラ

Michael **マイアサウラ**
LEIOMYRAX PRINCEI **暴竜の暴君**



1 更新世の哺乳類の骨格は、現代人と近しい特徴が認められている。手足と骨格がかなり人間に似ている。足は、現代人とほぼ同じ長さである。足は、現代人とほぼ同じ長さである。

2 体

3 道具

子育てをした恐竜、マイアサウラ

見本ページ(縮小)

Whales **クジラ**



1 更新世の哺乳類の骨格は、現代人と近しい特徴が認められている。手足と骨格がかなり人間に似ている。足は、現代人とほぼ同じ長さである。足は、現代人とほぼ同じ長さである。

2 体

3 道具

陸から海に戻った哺乳類、クジラ類

三省堂 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9412(営業) <https://www.sanseido.co.jp/>

注文書	NEW 生物の進化大事典	ISBN 978-4-385-16240-9 定価(本体4,200円+税)	貴店名・帖合先	三省堂
	お名前	お電話番号	冊	
	ご住所 〒			

※必要事項をご記入のうえ、最寄りの書店へお申し込み下さい。お客様の個人情報は本書のご注文のみに利用し、目的外の利用はいたしません。